

#12 命の中で王として支配することによって勝利を得る生活をして、命の都としての新エルサレムとなる

Bird's eye view 12/5-11

I 真のクリスチャン生活は、勝利者の生活です。新約におけるすべての勝利者は王であるべきです。彼らはあふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受けて、命の中で王として支配しています

ローマ5:17 もし一人の違犯によって、死が一人を通して王として支配したなら、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。A 神の定められた預言者また祭司として、私たちは王でもあって、神に私たちの中で、また私たちを通して、神のすべての敵を支配していただきます。新約の信者たちは、神のエコノミーにおける王、祭司、預言者の予表の成就であるべきです。啓1:6 私たちを王国とし、彼の神また父の祭司としてくださった方に、栄光と権能が永遠にわたってあるように。アーメン。B もし私たちがクリスチャン生活において王の水準に到達していないなら、まだ正常な標準より低いのです。私たちは、キリストを享受していると言うかもしれませんが、どれほど、どの程度までキリストを享受しているのでしょうか？ D 神の全体的な救いは、私たちがキリストの命の中で救われて、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物によって、この命の中で王として支配することです。義の賜物は、神の法理的な贖いが実際的に私たちに適用されることです。恵みは、私たちの有機的な救いのための、すべてに十分な供給としての神ご自身です。

II 聖書の最後の書である啓示録は、勝利者に関する書です。2章と3章で、主は私たち、私たちの偉大な父であるアブラハムの霊的な子孫である彼の信者たちに、彼の勝利者となるよう七重の召しを与えています。勝利者はサタンの大混乱をすべて征服し、神聖なエコノミーにおいて勝ち誇ります

啓2:7 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう。A 神の観点から、人々には四つの主要な種族があります。それはアダムの種族、肉によるアブラハムの種族、その霊によるアブラハムの種族、勝利者の種族です。私たちは信仰の霊を活用して、私たちが勝利者の種族に属していると宣言すべきです。B 啓示録は、勝利者がいなければ、キリストには再来する道がないことを示しています。私たちはキリストが私たちの道であることを知っていますが、キリストは彼の心の深みから勝利者たちに、彼らが彼の道であると告げます。勝利者たちが、キリストが再来するための道です。

啓19:7 私たちは喜び歓喜し、彼に栄光を帰そう。小羊の婚姻の時が来て、彼の妻は用意を整えたからである。C 神があなたを今日の勝利者とし、あなたが王として支配する生活をするために、神にあなたを祝福していただきましょう。この唯一の祝福は、三一の神の永遠の祝福であり、ご自身を私たちの中へと分与して、私たちの享受とならせることです。

III 私たちは命の中で王として支配して主の勝利者となるために、私たちが神聖で、霊的で、天的で、王的で、王なる命をもって再生されているということを見る必要があります。主は言われました、「神の王国はこのようなものである。ある人が地に種をまき」(マルコ4:26) マルコ4:27-29 そして夜昼、寝起きしていると、その種は芽を出し伸びていくが、どのようにしてそうなるのか、その人は知らない。地は自ずから実を結ぶのであり、初めに葉、次に穂、次に穂の中に穀粒が満ちる。しかし実が熟すると、直ちに人はかまを入れる。刈り入れ時が来たからである。

B 神の王国はキリストご自身です。人性における三一の神は、神の王国の種、「遺伝子」であり、神の選ばれた民の中にまかれました。それによって神は彼らの中で成長し、彼らの中で生き、彼らの内側から表現され、発展して神の支配する領域となります。C 新約の教え全体の内在的な要素とは、三一の神が肉体と成って、彼の選ばれた民の中へとまかれ、彼らの内側で発展して王国になるということです。神の目標は、神の王国の完全な発展です。7 私たちは主と一となって王国の福音を人の住む全地に宣べ伝え、王国の種(遺伝子)を増殖させ、発展させて、この時代を終結させる必要があります。

IV 経験において、命の中で王として支配することは、神聖な命の統治の下にいることを意味します

A キリストは、御父の神聖な命の統治の下にいることによって命の中で王として支配することの模範です。

B パウロは、生活と務めにおいて神聖な命の統治の下にいた者の模範です。C あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受けたすべての信者は、神聖な命の中での拘束と制限を訓練する必要があります。王国の支配の下にある生活は、義と平和と聖霊の中の喜びとの生活です。このように生きることは、奴隷としてキリストに仕えることであり、そのような生活は神に喜ばれ、人にも良しと認められます。

V 申命記が啓示しているのは、正しい王がまず神の言葉によって教えられ、統治され、支配され、制御されなければならなかったということです。この原則は、召会の中の長老と、命の中で王として支配することを切望する私たちすべてについても同じであるべきです 申17:20 彼の心が自分の兄弟たちに対して高ぶることがなく、戒めから右にも左にもそれ

ることがないためである。そうすれば、彼とその子たちはイスラエルの中で王国の日を長くすることができる。

Cエズラとネヘミヤのリーダーシップの下で、イスラエルの帰還した民は、神によって、神をもって、神の言葉を通して団体的に再構成されて、神の証しとしての国となりました。神の民を再構成することは、彼らを神の御言の中へともたらし、彼らを御言葉で浸透させることによって、彼らを教育することです。

D神の言葉はその霊と一です。私たちが日ごとに神聖な御言を読むことを通して、神の言葉は私たちの内側で働き、その霊は御言葉を通して、神の性質を神の要素と共に私たちの存在の中へと自然に分与し、私たちが神で構成されるようになります。

VI命の中で王として支配するために、私たちはまたその霊の統治の下にいる必要があります。ヨセフの生涯の記録は、その霊の統治の啓示です。なぜなら、その霊の統治は、円熟した聖徒の王として支配する面であるからです。それは命の中で王として支配し、神の王国の実際の中で神聖な命の拘束と制限の下にいる生活です。そしてそれはその霊の他のどの面よりも高いのです。

Aヨセフは...、神の見方によれば、神の民が命に満ちた麦束であり、光に満ちた天体であることを夢で見ました。**B**ヨセフが卓越してすばらしく振る舞ったのは、彼が夢の中で見たビジョンによって導かれたからです。彼の兄弟たちは怒りを爆発させ、情欲にふけりましたが、ヨセフは怒りを征服し、情欲に打ち勝ち、命に満ちた束として振る舞い、暗やみの中で輝く天の星のように行動しました。**C**天のビジョンの下でのヨセフの生活は、マタイ5章～7章に記述されている天の王国の生活でした。彼はそのような生活をするによって、王として支配するよう十分に用意されました。**D**円熟した命の、王として支配する面の代表として、ヨセフは主の臨在を享受し、それと共に主の権威、繁栄、祝福を享受しました。**E**ヨセフは彼の兄弟たちに対して人の感情と情緒に満ちていましたが、自分自身と彼のすべての感情をその霊の統治の下に保ちました。ヨセフは自分自身を否み、自分自身を神の主権ある導きの下に完全に置き、もっぱら神と神の民との権益のために振る舞いました。**F**ヨセフは、新約で啓示されていることの生ける説明です。ヨセフは自己を否む人であり、彼には何の自己の興味も、自己の享受も、自己の感覚も、自己の野心も、自己の目標もありませんでした。すべては神のためであり、また神の民のためでした。ヨセフが自己を否んだこと、彼が神の主権ある御手の下に制限されたことは、王国の生活を実行するかぎでした。**G**ヨセフの認識は、彼をエジプトに遣わしたのは神であったということでした。創世記50:20で、彼は彼の兄弟たちに、「あなたがたは、私に対して悪を

図りましたが、神はそれを良きに図ってください」と言いました。これは、ローマ8:28～29におけるパウロの言葉の実際です。ヨセフは、彼の兄弟たちが彼に行なったすべてのことを、神からのものとして受けました。ヨセフは自分に対して罪を犯した人たちを慰めました。彼は何という恵み、何という卓越した霊を持っていたことでしょう! **創45:5**しかし、今、私をここに売ったことで悲しんだり、自分を責めたりしてはなりません。神はあなたがたの命を守るために、あなたがたより先に私を遣わされたのです。**50:20**あなたがたは、私に対して悪を図りましたが、神はそれを良きに図ってください...。ローマ8:28 また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、私たちは知っています。**H**私たちは「神聖な望遠鏡」を用いて、時間を見通し、新エルサレムを見つめなければなりません。そこには命に満ちた束と、光に満ちた星のほか何ともありません。私たちは命において円熟すればするほど、ますます聖徒たちや召会について消極的に語らなくなります。

VII私たちは命の中で王として支配することの目標を見て、それに到達する必要があります。私たちが命の中で王として支配し、神聖な命の統治の下で生きているとき、その結果は真の実行上のかからだの生活が召会生活の中で表現されることです

A私たちはキリストの中へと信じた者たちとして、神の愛する御子の王国の中へと移されました。召会生活の中で愛はまします。からだは愛の中でそれ自身を建て上げます。私たちが何であろうとも、また何を行なおうとも、キリストの有機的なからだとしての召会を建造するために、愛が最も卓越した道です。**エペソ4:16** この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わされ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。**C**召会生活は、警察署や法廷ではなく、霊的な子供たちを育てる愛の家、病気の者たちをいやし回復する病院、愛の中で人々を教える学校です。

VIII私たちは命の中で王として支配している時、恵みとしての内住するキリストに私たちの内側で王として支配していただき、「永遠の命に至り」ます。これが、命の中で王として支配することの究極的完成です

Aヨハネ4:14後半は言います、「私が与える水は、その人の内で源泉となり、湧き上がって、永遠の命へと至るのである」。**C**流れる三一の神、すなわち、命の源泉としての御父、命の泉としての御子、命の川としてのその霊を享受することによって、私たちはあふれるばかりの恵みを受けて、神の命の総合計としての新エルサレム、命の都となりつつあります。

CP1 預言する(キリストを人々の中へと語り込む)ために、文化から出て、霊と信実をもって主と交わる

真のクリスチャン生活は、勝利者の生活です。新約におけるすべての勝利者は王であるべきです。彼らにあふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受けて、命の中で王として支配しています。ローマ5:17 もし一人の違犯によって、死が一人を通して王として支配したなら、あふれるばかりの恵みとあふれるばかりの義の賜物を受ける者たちは、さらにいっそう一人の方、イエス・キリストを通して、命の中で王として支配します。A 神の定められた預言者また祭司として、私たちは王でもあって、神に私たちの中で、また私たちを通して、神のすべての敵を支配していただきます。新約の信者たちは、神のエコノミーにおける王、祭司、預言者の予表の成就であるべきです。1 新約におけるすべての信者は救われて、王また祭司となっています。祭司が神のために語るとき、彼らは神のスポークスマン、神の代弁者となります。これらが預言者です。

啓1:6 私たちを王国とし、彼の神また父の祭司としてくださった方に、栄光と権能が永遠にわたってあるように。アーメン。2 預言すること(キリストを人々の中へと語り込むこと)は、私たちを勝利者にします。預言することは、勝利者の機能です。

神は祭司に、彼の代理権威の語る部分だけでなく、支配する部分も託されました。こうして、祭司は語る者であり、王でもありました。しかしながら、神はご自身に置き換わる王を願っておられません。神はただ、彼の権威が行使されることを願われます。ですから、祭司がいたイスラエルの歴史の始まりに、王はいませんでした。彼らはウリムとトンミムを持っていました。ウリムとトンミムは、神の語りかけと神の支配の両方の代理権威でした。

預言者はまず神の託宣を顧慮しました。彼らの託宣に基づいて、彼らはある程度まで神の権威を行使しました。多くの王は預言者に聞き従いました。...こうして、すべての真の預言者は勝利者でした。これは啓示録...で成就されます。[そこで]主は以下の言葉、「勝利を得る者」を七度繰り返されました。これらの勝利者は預言者の予表の成就です。ですから、使徒パウロは、召会がどのように集会すべきであるかについて語るとき、預言することを強調し、高く上げているのです。預言することはあなたを勝利者とします。キリストを人々の中へと語り込むことが預言することです。

適用:ビジネスパーソン、大学院生編

主の回復は、ブラザレンの教理に注意を払い過ぎて分裂した失敗から学んでいます。回復は、真理だけでなく実行にも重きを置いています。リー

兄弟は真理を提示した後、必ず命の経験への適用を交わりました。

あなたは、おもに教理だけを追い求める自分自身の宗教観念を取り除いていただく必要があります。日本の文化の中に、本音と建前というのがあります。ここから、総論賛成、各論反対という行動が出て来ます。これは、建前は賛成、本音は反対という意味です。例えば、世論などの背景から、国会議員は議員の定員削減に賛成しますが、自分の地方の削減には反対します。本音は反対ですが、世論を恐れ、建前上は賛成しています。日本の文化は、表面的な軋轢を避け、表面の現れを美化しようとして本音の反対を隠すので、議論が噛み合いません。この場合、現在の国会議員の定員がG7の他の国々と比べて多すぎるので、税金の負担軽減のため、定数を削減していく必要があるという本質的なテーマに反対していることを隠しています。あなたは主に対してこのように本音と建前を使い分けて交わってはいけません。

真理を適用するには訓練と代価が必要ですので、教理だけに注意を払っている方が楽です。ですから本音は教理だけに注意し、その適用を実行するつもりはないのですが、リー兄弟のメッセージには建前としてアーメンを言います。このような文化的な影響によって、あなたは無意識に、ごく自然に、本音と建前を使い分け、霊と信実をもって主と交わることからそらされています。

あなたはこの文化的な背景から出てくる必要があります。そうでないと、主の御言葉を読んでも、信じて、従うことができなくなります。その結果、主の言葉を語り、実行することができません。神の言葉を大胆に語るができないのであれば、預言者の機能を失っているのです。勝利者になることはできません。

主の回復は、キリスト教の一般的な働きを改善するためではなく、勝利者を生み出すためです。勝利者になるために、あなたの預言者の機能を回復するために、文化的背景から出て来て、御言葉と正しく関わる必要があります。預言者になるために、1 神の言葉を読み、祈って享受する、2 神の言葉を信じる、3 神の言葉に従う、4 神の言葉を語る、5 神の言葉を実行する必要があります。

祈り おお主イエスよ、真のクリスチャン生活、勝利者の生活を持つには、霊と信実をもって主と交わることが必要です。そのために、本音と建て前を分ける日本の文化から出てくる必要があります。そうでないと主の言葉を読んでも、信じて従うことはできません。主よ、私を宗教観念、文化的背景から救ってください。預言者の機能を回復するために、神の言葉を享受して語り、実行します。

CP2主の中で、ヨセフを模範として、互いに赦し合うことを実行する

VI命の中で王として支配するために、私たちはまたその霊の統治の下にいる必要があります。ヨセフの生涯の記録は、その霊の統治の啓示です。なぜなら、その霊の統治は、円熟した聖徒の王として支配する面であるからです。それは命の中で王として支配し、神の王国の実際の中で神聖な命の拘束と制限の下にいる生活です。そしてそれはその霊の他のどの面よりも高いのです。創45:5しかし、今、私をここに売ったことで悲しんだり、自分を責めたりしてはなりません。神はあなたがたの命を守るために、あなたがたより先に私を遣わされたのです。50:20あなたがたは、私に対して悪を図りましたが、神はそれを良きに図ってください...。ローマ8:28また神を愛する者、すなわち、彼の目的にしたがって召されている者たちには、すべてが共に働いて益となることを、私たちは知っています。

ヨセフは、新約で啓示されていることの生ける説明です。ヨセフは自己を否む人であり、彼には何の自己の興味も、自己の享受も、自己の感覚も、自己の野心も、自己の目標もありませんでした。すべては神のためであり、また神の民のためでした。ヨセフが自己を否んだこと、彼が神の主権ある御手の下に制限されたことは、王国の生活を実行するかぎでした。Gヨセフの認識は、彼をエジプトに遣わしたのは神であったということでした。創世記50:20で、彼は彼の兄弟たちに、「あなたがたは、私に対して悪を図りましたが、神はそれを良きに図ってください」と言いました。これは、ローマ8:28～29におけるパウロの言葉の実際です。ヨセフは、彼の兄弟たちが彼に行なったすべてのことを、神からのものとして受けました。ヨセフは自分に対して罪を犯した人たちを慰めました。彼は何という恵み、何という卓越した霊を持っていたことでしょうか！私たちは「神聖な望遠鏡」を用いて、時間を見通し、新エルサレムを見つめなければなりません。そこには命に満ちた東と、光に満ちた星のほか何もありません。私たちは命において円熟すればするほど、ますます聖徒たちや召会について消極的に語らなくなります。

しばしばクリスチャンがだれかを赦す時、「そうです、私はあなたを赦しますが、あなたが行なったことの重大さを思い出してもらいたいのです」と言いません。この種の赦しは何の意味もありません。なぜなら、実はそれは全く赦してはいないからです。ヨセフは兄弟たちを赦した時、彼らを慰め、自分を責めるのではなく、行なったことを忘れるようにと言いました。彼は彼らが自分を奴隷に売ったことは、神が命を守るために行なわれたのであったと言いました。ヨセフ

は兄弟たちが行なったことで、彼らを責めませんでした。むしろ、彼は彼らを神の助け手と考えました。

適用:青少年・大学生、新人編

エペソ4:31すべての苦さ、憤り、激怒、わめき、ののしりを、すべての悪意と共に、あなたがたから除き去らせなさい。32そして、互いに親切で情け深くあり、神がキリストにあってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい。

FN情け深くありキリストを恵みと実際として享受することによってのみ、私たちは情け深くあることができ、こうして、互いに赦し合うことができます。

FN赦し合いなさいあるいは、恵みを示しなさい。

ウイットネス・リー兄弟は、私たちの間で赦す霊が欠けていることが、増し加わりがない原因であると言われました。日本人は非常に細かいので、他人の自分に対する些細な悪い行いをずっと覚えていく傾向が強く、なかなか人を赦せません。しかし、あなたは救われた人として、主の中でヨセフを模範として、赦し合うことを実行すべきです。

証台北で2年間、訓練を受けている時に、同労者たちや責任者たちの心が広く、彼らは赦し合い、受け入れることを実行している模範を見ることができました。私は自分の心が狭いことが照らされました。そして、全時間訓練の中で、主の恵みに頼り、赦し合い、受け入れあうことを実行し始めて気付いたことは、「他人を赦すことで、自分自身が罪の束縛から解放される」ということです。私は福音隊のリーダーをしていましたので、メンバーから様々な批判を受けました。その中の幾つかは、「リーダーが中国人やアメリカ人ではなく、日本人であることが気に入らない」というものでした。私はそのことに気付き、心の中で怒っていました。しかし、怒っても何の問題解決にもならないので、主に行きました。主と交わっている時に、内側の罪、欠点、短所が照らされました。そして、照らされた罪を一つずつ告白し、主に赦しを請い、清めていただきました。それから、彼らを赦し、受け入れるように努めました。直ぐには上手いかないこともありましたが、先ず、自分自身が解放されました。そして、自分が他人を赦さないことは、実は罪に縛られていることであることが理解できました。更に、そのメンバーとの正常な交わりを回復できました。祈りおお主イエスよ、ヨセフは、兄弟たちが彼に行なった悪を、神からのものとして受けました。彼は兄たちを赦し、慰めさえしました。他人の自分に対する些細な悪い行いをずっと覚えていて、なかなか人を赦せないのはサタンに縛られているからです。キリストを恵みと実際として享受することによってのみ、他人を赦すことができます。主の中でヨセフを模範として、赦すことを実行します。